

研究活動一覧

「研究活動一覧」は、当所研究員の研究活動と研究内容や関心分野を、読者の皆様にタイムリーに提供することを目的としています。研究内容の詳細につきましては、直接担当研究員までお問い合わせ下さい。

【研究論文および雑誌記事等】

研究員名	表 題	発表誌、巻・号	発表年月
相川良彦	日本の山村と高齢者の生活	グローバルエコノミーと北東アジア地域 における農業の持続的発展(北東アジア農 政研究フォーラム第3回国際シンポジウム)	2005.10
相川良彦・會田陽久 (共著)	農村をめざす人々――ライフスタイルの転換 と田舎暮らし――	(筑波書房)	2006. 1
會田陽久(共著)	切り花消費の数量分析	農業市場研究 14(2)	2005.12
會田陽久(共著)	消費者の有機農産物購買行動に関する一考察 ——JGSS2002 データを用いて——	農業市場研究 14(2)	2005.12
市田知子	(書評)戦後日本農村の社会変動	明治大学社会科学研究所紀要 44(1)	2005.10
市田知子	(書評)ドイツのグリーンツーリズム	村落社会研究,日本村落研究学会(農 山漁村文化協会)12(2)	2006. 3
伊藤正人	フランスの新しい農業政策の方向	Techno Innovation 58	2006. 2
上林篤幸	北イタリアの稲作――EUコメ政策改革の意 義と影響	2006 年度日本農業経済学会報告要旨	2006. 3
上林篤幸	米国産牛肉禁輸(2003 年 12 月)以降のわが 国のBSE対策および牛肉市場の動き	畜産の情報(国内編)4月号	2006. 3
江川 章	都市農村交流の新段階	グローバルエコノミーと北東アジア地域 における農業の持続的発展(北東アジア農 政研究フォーラム第3回国際シンポジウム)	2005.10
江川 章	Relations between Urban-rural Exchange Programs and New Farmers: Case of Farm Work Volunteers	Farming Japan 40 (1)	2006. 3
大山達雄・吉井邦恒	農林水産省の政策評価と政策体系化:現状と 問題点	現代図書	2006. 2
香月敏孝	Development of Vegetable Farming in South Korea: Comparison with Japan	Farming Japan 40 (2)	2006. 3
勝又健太郎	アメリカの酪農産業における構造変化の軌跡 と今後の展望	月刊NOSAI 58(3)	2006. 3

研究員名	表 題	発表誌、巻・号	発表年月
勝又健太郎	米国ニューヨーク州の生乳生産コストに関す る実証分析	2006年度日本農業経済学会大会報告要旨	2006. 3
川崎賢太郎	品目横断政策の数量的分析手法	2006 年度日本農業経済学会大会報告 要旨	2006. 3
河原昌一郎	中国の土地請負経営権の法的内容と適用法理	農林水産政策研究所レビュー 18	2006. 1
河原昌一郎	中国の食品トレーサビリティの動向と課題	農林経済 9760	2006. 2
木下順子(共著)	The Degree of Vertical and Horizontal Competition Among Dairy Cooperatives, Processors, and Retailers	Journal of the Faculty of Agriculture Kyushu University	2006. 3
木下順子 (共著)	日本人の牛乳消費は飽和したか	平成 17 年度畜産物需給関係学術研究 情報収集推進事業報告書	2006. 3
空閑信憲	国内価格差別措置の貿易への影響について― ―酪農部門を事例として――	2006年度日本農業経済学会大会報告 要旨	2006. 3
小泉達治(共著)	Impacts of the Chinese Fuel-Ethanol Program on the World Corn Market: An Econometric Simulation Approach	The Japanese Journal of Rural Economics 8	2006. 3
小泉達治	国際砂糖価格と需給に与える要因――ブラジルにおけるエタノール政策・需給動向――	砂糖情報 115	2006. 3
小泉達治	中国における燃料用エタノール政策の動向と 課題――とうもろこし需給へ与える影響――	2005 年度日本農業経済学会論文集	2006. 3
小泉達治	ブラジルにおけるバイオエタノール政策の動 向と課題	Techno Innovation 59	2006. 3
小泉達治	ブラジルにおけるバイオディーゼル計画―― 大豆需給に与える影響――	2006 年度日本農業経済学会大会報告 要旨	2006. 3
小島泰友	外麦政府売渡価格引き下げ下における大手製 粉企業の戦略的企業行動	フードシステム研究 12(3)	2006. 2
合田素行	日本の多面的機能の議論と政策的課題	グローバルエコノミーと北東アジア地域 における農業の持続的発展(北東アジア農 政研究フォーラム第3回国際シンポジウム)	2005.10
櫻井武司 (共著)	産業集積の効率・品質改善効果――ガーナ精 米業の事例――	市場と経済発展——途上国における貧 困削減に向けて——(東洋経済新報社)	2006. 3
櫻井武司	農民は圃場特異的な降水量変動リスクに備えているか?――西アフリカ半乾燥熱帯における実証――	2006年度日本農業経済学会大会報告 要旨	2006. 3
高橋義文	農業の持続可能性の評価手法の開発	グローバルエコノミーと北東アジア地域 における農業の持続的発展(北東アジア農 政研究フォーラム第3回国際シンポジウム)	2005.10
高橋義文・林 岳・ 合田素行	多面的機能プロジェクト研究――環境会計と 環境チェックソフトの開発を中心に――	農林水産政策研究所レビュー 18	2006. 1
立川雅司	EUにおける遺伝子組換え作物関連規制の動向——食品・飼料規則制定後の動きを中心に	GMO: グローバル化する生産とその規制(農林水産政策研究叢書7,藤岡典夫・立川雅司編著,農林水産政策研究所)7	2006. 3

研究員名	表 題	発表誌、巻・号	発表年月
立川雅司	アメリカにおける遺伝子組換え作物をめぐる 規制・生産・流通の動向	GMO: グローバル化する生産とその規制(農林水産政策研究叢書7, 藤岡典夫・立川雅司編著, 農林水産政策研究所)7	2006. 3
立川雅司	中国における遺伝子組換え作物をめぐる規 制・生産・流通の動向	GMO: グローバル化する生産とその規制(農林水産政策研究叢書7, 藤岡典夫・立川雅司編著, 農林水産政策研究所)7	2006. 3
西尾 健	コウノトリが羽ばたく国	農林水産政策研究所レビュー 18	2006. 1
西尾 健	世界農業経済研究所長会議	農林水産政策研究所レビュー 18	2006. 1
西尾 健	酉年の暮れに	千代田フォーラム文集 13	2006. 1
西尾 健	農業・農政と国民の意識	新農業技術新報 1729	2006. 1
喬詰 登	日本農村の人口問題	グローバルエコノミーと北東アジア地域 における農業の持続的発展(北東アジア農 政研究フォーラム第3回国際シンポジウム)	2005.10
喬詰 登	耕作放棄地の市町村別属地面積の推計——市町村を単位とした時系列面積の把握手法—	長期金融 93	2006. 3
喬詰 登	耕作放棄田の発生要因に関する分析	長期金融 93	2006. 3
喬詰 登	(書評)農業地域区分・時期区分手法論	農業経済研究 77 (4)	2006. 3
福田竜一	米豪自由貿易協定における影響分析の結果について——農業問題を中心に——	農林水産政策研究所レビュー 18	2006. 1
福田竜一	政治的圧力が関税交渉に及ぼす影響	2006 年度日本農業経済学会報告要旨	2006. 3
鉴栄 剛	農林漁業部門の新規就業とマッチング関数	2005 年度日本農業経済学会論文集	2006. 3
藤岡典夫	(連載)食品安全・動植物検疫措置に関する WTO紛争事例の分析——第2回オーストラ リア―サーモン事件——	農林水産政策研究所レビュー 18	2006. 1
 藤岡典夫	遺伝子組換え体規制をめぐる予防原則と WTOルールの抵触	GMO: グローバル化する生産とその規制(農林水産政策研究叢書7, 藤岡典夫・立川雅司編著, 農林水産政策研究所)7	2006. 3
藤岡 典夫	(連載)食品安全・動植物検疫措置に関する WTO紛争事例の分析――第3回日本―農産 物 (コドリンガ) 事件――	農林水産政策研究所レビュー 19	2006. 3
卯 京熙	住民(農業生産者)参加型農村開発	グローバルエコノミーと北東アジア地域 における農業の持続的発展(北東アジア農 政研究フォーラム第3回国際シンポジウム)	2005.10
度部靖夫	オーストラリアの遺伝子組換え作物・食品関 連規制の動向と課題	GMO: グローバル化する生産とその規制(農林水産政策研究叢書7, 藤岡典夫・立川雅司編著, 農林水産政策研究所)7	2006. 3
度部靖夫	農政改革の潮流と国際農業交渉――その影の 立役者OECD―	Techno Innovation 58	2006. 2

研究員名	表題	発表誌、巻・号	発表年月
渡部靖夫	本書の課題と構成	GMO: グローバル化する生産とその規制(農林水産政策研究叢書7, 藤岡典夫・立川雅司編著,農林水産政策研究所)7	2006. 3

【口頭発表および講演】

講演者	演 題	講演会名	発表年月日
上林篤幸	国連世界人口予測シナリオ及び国際穀物需給パイロットモデルによる,世界穀物市場の2030年までの長期シナリオ予測および,諸外国のモデル実施体制について	総合食料局次長勉強会(農林水産省総 合食料局食料企画課)	2006. 3. 9
江川 章	農業経営の継承と参入	農業経営・労働管理専門家要請講座ス クーリング(農山漁村女性・生活活動 支援協会)	2006. 1.11
勝又健太郎	米国ニューヨーク州の生乳生産コストに関す る実証分析	2006年度日本農業経済学会大会個別報告	2006. 3.31
小泉達治	ブラジルのエタノール・砂糖政策の展開と課 題	生産局特産振興課長勉強会 (農林水産 省生産局特産振興課)	2006. 1.18
小泉達治	ブラジルのエタノール政策の展開と課題	ブラジル情報交換会 (日本貿易振興機 構)	2006. 1.24
小林茂典	野菜の用途別需要の動向と今後の対応課題に ついて	うつくしま園芸特産物生産拡大推進大 会(福島県)	2006. 1.17
小林茂典	加工・業務用野菜のニーズと産地の対応方策	加工・業務用野菜推進シンポジウム(日本施設園芸協会他)	2006. 2. 7
小林茂典	野菜の加工・業務用需要の動向と今後の対応 課題	加工・業務用野菜に関する研修会(千 葉県)	2006. 2.23
小林茂典	加工・業務用野菜の現状と産地の対応について	神奈川県園芸種苗対策協議会研修会 (神奈川県園芸種苗対策協議会)	2006. 3.14
櫻井武司	Plot-Specific Rainfall Risk and Farm Households' Risk Management in Mali, West Africa	TEA研究会 2006 年度春季大会	2006. 3.29
Takeshi Sakurai · Kimseyinga Savadogo	Pauvrete Transitoire et Degradation Environnementalle: Le Cas de Burkina Faso	Seminaire Special (Universiite de Ouagadougou)	2006. 3. 9
立川雅司	Biosafety Options and Their Implications on Public Research	APEC Conference on Biosafety Policy Option, Manila, the Philippines	2006. 1.16 ~ 18
立川雅司・高橋祐一 郎	農業・食品分野へのナノテク応用とその社会経済倫理的含意——遺伝子組換え作物の経験から学ぶこと——	第5回ナノテクノロジーの倫理・社会 影響に関する委員会(物質・材料研究 機構)	2006. 1.27
吉井邦恒	農家別データを用いた品目横断的経営安定対 策への接近	品目横断的経営安定対策に係る現地検 討会(北海道農業共済組合連合会)	2006. 2.23
吉井邦恒	農家別データを用いた品目横断的経営安定対 策への接近	品目横断的経営安定対策検討会(宮城 県農業共済組合連合会)	2006. 3.14